

CMMI 成熟度レベル 3 達成のお知らせ

当社ソリューション事業部は、ソフトウェア開発プロセスの能力成熟度として国際標準的な指標である CMMI（*1）の成熟度レベル 3 を達成しましたのでお知らせいたします。今後は、レベル 3 達成に留まらず、継続的改善やさらなる定着化を重ね、他部門への横展開を図るとともにより上位のレベル達成に努めてまいります。

当社は、お客様の信頼に応えるためにはプロジェクトマネジメント能力が最も重要だと考えております。その一環として、CMMI を用いた組織プロセス改善や社員の PMI 認定 PMP 資格（*2）の取得に取り組んでおります。

PMP 資格取得者の増加につきましては、2016 年 3 月現在、438 名が取得するに至りました。今後は技術者の半数となる 500 名を目指し取り組んでまいります。

今後も、CMMI と PMP の両輪で、プロジェクトマネジメント能力を高め、お客様の信頼に応えられるよう努めてまいります。

【内容】

評 定 日 : 2016 年 3 月 7 日

モ デ ル : CMMI for Development, Version 1.3 (段階表現)

評定手法 : SCAMPI , Version 1.3 (*3)

評定範囲 : ソリューション事業部



アプレイザルの結果はこちら

https://sas.cmmiinstitute.com/pars/pars_detail.aspx?a=26117

(*1) CMMI (Capability Maturity Model Integration)

米国カーネギーメロン大学 (CMU) のソフトウェア工学研究所 (SEI) が開発したソフトウェア開発プロセスの能力成熟度モデル。組織のプロセス能力(成熟度)を 5 段階で評価し継続的な改善を促すため、体系的なプロセス改善が可能。現在ではソフトウェア開発能力を測る国際標準的な指標となっております。

(*2) PMP 資格 (Project Management Professional)

米国の非営利団体 PMI (Project Management Institute) が主催するプロジェクトマネジメントに関する資格。プロジェクトマネジメントに関する国際標準的な資格として広く認知されており、多くの業界から注目されています。

(*3) SCAMPI (Standard CMMI Appraisal Method for Process Improvement)

CMMI に照らして組織のプロセスを評定する際の条件や手順を定義したもので、レベル評価は、SEI に認定されたリードアプレイザーにより、SCAMPI に厳格に沿って実施されます。

以上

[本件に関するお問合せ先]

TDCソフトウェアエンジニアリング株式会社

経営企画部 桔梗原

E-mail : pri@tdc.co.jp